

1 はじめに

建築ITコミュニケーションデザイン論 #1

本江正茂

2014年4月9日 (水)

担当教員

本江正茂 Masashige Motoe

- 一般連絡用：motoe@archi.tohoku.ac.jp
- レポート提出用：motoe2+aitcd@gmail.com
- <http://www.motoelab.com/blog/20140409084824.html>

年次・学期

- 東北大学大学院工学研究科都市・建築学専攻博士課程前期
- 水曜3限 (13:00~14:30)
- 片平南キャンパス 通研2号館4階 430教室

講義の趣旨

建築とITコミュニケーションを統合的なひとつのデザインの問題として考える。

オフィス、学校、図書館などの建築空間の多くは、その内部で情報の授受を行うことが主要な役割であった。しかし、近年の情報技術の革新によって、建築空間と情報の関係は大きく変化した。これからの空間と情報のデザインを考えていくためには、両者の相互作用を根本的に見直す必要がある。両者は別々の分野ではなく、そのデザインにあたっては総合的に検討されなければならない。この講義では、テクノロジーのみならず、社会学、芸術、哲学、認知科学などの分野にも視野を広げ、空間と情報にかかわる諸理論と事例を展望する。

受講に当たっては、必ずしも予備知識は必要ない。履修後は、空間と情報の相互作用に関する常識的知識の一端を獲得することによって、両者を見渡した地点から、新たな問題を考えはじめられるようになることが期待される。

2014年度のスケジュール

1. 4月9日 はじめに
2. 4月16日 データの表象
3. 4月23日 空間の表象
4. 4月30日 (休講)
5. 5月7日 身体と空間(1) 視覚
6. 5月14日 身体と空間(2) 意味や価値は世界のどこにあるか?

7. 5月21日 速度とスケール
8. 5月28日 意味とイメージ
9. 6月4日 情報と社会
10. 6月11日 (休講)
11. 6月18日 情報と都市
12. 6月25日 建築とアーキテクチャ
13. 7月2日 建築とコンピュータ
14. 7月9日 デザインとイノベーション
15. 7月16日 (休講)
16. 7月23日 デザインとワークプレイス

評価方法

- 期末レポートを評価の主材料とする。
- すぐれたレポート等はウェブサイト等で公開することがある。

教科書・参考書・リンク

- 教科書は特に指定しない。
- 授業では、原則として毎回ハンドアウトを配布する。ハンドアウトは各回授業終了後にウェブサイト置くので、欠席した場合などはダウンロードすること。研究室に取りに来ても準備はない。
- 講義内容に関する疑問、質問、感想、意見など、随時上記のメールで受け付ける。

参考文献

各講義でトピックにふさわしい参考文献を指示する。以下に一例。

- ウィリアム・J・ミッチェル『シティ・オブ・ビット：情報革命は都市・建築をどうかえるか』掛井秀一+田島則行+仲隆介+本江正茂 訳、彰国社、1996
- 港千尋『第三の眼：デジタル時代の想像力』廣済堂、廣済堂ライブラリー002、2001
- 鈴木明『インタラクションデザインノート』神戸芸術工科大学大学院、2003
- 原研哉『デザインのデザイン』岩波書店、2003
- 阿部仁史, 小野田泰明, 本江正茂, 堀口徹『プロジェクト・ブック』彰国社、2005
- 『Apple Human Interface Guidelines: The Apple Desktop Interface (日本語版)』トッパン、1989
- 江渡浩一郎『パターン、Wiki、XP』技術評論社、2009
- ヒューバート・ドレイファス『インターネットについて：哲学的考察』産業図書、2002
- マイケル・ベネディクト編『サイバースペース』NTT出版、1994
- 尾原和啓『ITビジネスの原理』NHK出版、2014

本日のミニワークショップ：

この科目を履修するにあたって、何を学ぶことを期待しているか。

学籍番号と氏名

Q1. この講義に関連すると想像するキーワードを10個挙げよ（5分）

- 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9
- 10

Q2. 3人で組になり、上記リストのキーワードを共有し、自分があげなかったものを加え、足りない場合は議論してさらに増やし、キーワードを20個追加せよ。（10分）

- 11
- 12
- 13
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19
- 20
- 21
- 22
- 23
- 24
- 25
- 26
- 27
- 28
- 29
- 30

Q3. 上記30個のキーワードのリストから、自分にとって特に関心のあるものを5～7個選んで印をつけよ。

Q4. この科目を履修するにあたって何を学ぶことを期待しているか、200字程度で述べよ。書けたものから提出して退室してよい。